

# 県民ひろば

2023年3月30日

No. 64

発行/県民クラブ  
連絡先/大分県議会  
大分市大手町(097)536-1111代

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>



## 大分県の課題、そして、未来へ向けて

県民クラブ 高橋 肇 (白杵市)



2023年の第1回県議会定例会が、2月27日から3月17日までの19日間の会期で開かれました。今回をもって引退される広瀬勝貞知事にとって、最後の県議会となりました。5期20年の広瀬県政をどう評価するかは個々人で異なるでしょうが、様々な難題課題が多い中、大分県のリーダーとして活躍されたことに感謝いたします。

さて、この4年間で振り返って大きな出来事といえば、やはり「新型コロナウイルス感染症」です。3年間にわたり、ワクチン接種や補助金など様々な支援や対策を講じました。県議会でも「コロナ感染症対策特別委員会」を設置して、聞き取り調査や対応策など検討しました。しかし、残念ながら完全終息には至っていないのが現状です。

早く対策を講じなかつたのでしよう。また、若い教職員対象の「頻繁かつ行き過ぎた広域人事異動」についても、見直しを訴えてきました。多くの市町村議会でも、広域異動ルールの緩和や見直しを求める意見書が採択されました。この制度が導入されて10年以上たち、県教委もようやく見直しに舵を切り始めましたが、その期限ははつきりしないままです。

その他にも、ヤングケアラー対策や公立夜間中学校の設置など重要課題があります。さらには学力テストやフツ化物洗口についても、学校や子どもたちに負担がかかっている実態もあり改善が必要です。大分県の未来を担う子どもたちと日夜がんばっている教職員の皆さんのため、働き方改革も進める中で、豊かでゆとりある教育の実践ができる教育環境づくりが大切になっていきます。

そのような中、今期で県民クラブの4人のベテラン議員が勇退されます。長きに渡り県政のため力を尽くされてきたことに、心より感謝を申し上げます。少子高齢化と人口減が進む大分県。地方創生に向けた道のりは険しく道半ばも行っていない状況ですが、今後も課題解決に向けたアドバイスをお願いいたします。